

# かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 21  
令和元年10月28日  
八頭町立八東小学校  
電話71-0108 FAX71-0107

## ○運動にふさわしい季節です。 ～ 第14回森下広一杯八頭町マラソン大会にて ～

本来なら、この号には、マラソン大会の結果を紹介するつもりで、原稿を書いていたのですが、残念ながら木曜日も金曜日も雨模様で中止しました。次の延期日は、11月を予定しています。

(・現時点では、八東フェスティバル終了後の11月14日・木《予備日は15日・金》を予定しています。)

さて、今年も標記のマラソン大会を見学しました。本校からも、男女13名の児童が3kmの部に参加し、また、ファミリーの部にも本校のたくさんの児童が親子で参加していました。そして、中学生は全員が3kmに参加し、激走を繰り広げていました。ゴール前で見ていても、迫力がありませんでした。去年卒業した生徒も中学生らしくなり、最後までがんばって走る姿に成長を感じました。

ところで、今年も、この大会に招待選手として、メキシコオリンピック・マラソン・銀メダリスト：君原健二さん、もちろん、バルセロナオリンピック・マラソン・銀メダリスト：森下広一さんも参加していました。いよいよ来年に迫ったオリンピック。思えば、日本の男子マラソンで銀メダリストは、君原さん、森下さん、そして、故・円谷光吉さんです。(御存知ですか？年配の方でないと分からないかもしれませんね。前回の1964年10月10日の東京オリンピックでの銀メダリストです。)ですから、今、お元気の銀メダリストお二人が参加され、走られる大会は、おそらく今のマラソンブームの中で、この大会だけではないでしょうか。そんな意味もあり、是非、来年もたくさんの児童のみなさんが参加してくれることを期待しています。

さて、今年も5kmの部を元気に走られた君原健二さんの姿を拝見しながら、感動しました。今年、78歳になられ、今なお走り続けておられます。君原健二さん、その経歴をみなさん、御存知ですか。

東京オリンピック8位入賞、メキシコオリンピック 銀メダル、そして、ミュンヘンオリンピック5位入賞。日本のマラソン界では、誰にも負けないすばらしい成績を残されています。

君原健二さんの言葉にこんな言葉があります。

一人で走っていると 苦しくなるとやめたくなる 夜だから人が見ているわけでもない  
人に指図されて走っているわけでもないから 止まるも辞めるも 自分の自由  
でも頑張りよう もうちょっと 頑張りよう

そう言いながら走っている 自分で自分に激励をしながら  
走ると苦しいというより 楽しくなるから不思議

「でも頑張りよう もうちょっと 頑張りよう」、自分を自分で励ます。そして、こんな言葉もありました。

私は苦しくなると よくやめたくるんです

そんな時 あの街角まで あの電柱まで あと100mだけ走ろう

そう自分に言い聞かせながら 走るんです

今から、40年前の1979年(昭和54年)の公共広告機構の「自殺防止キャンペーン」での、「すててはいけない君の人生」で紹介された君原健二さんの言葉です。君原健二さんの走る後ろ姿と電柱のある光景が、今でも心に残っています。(個人的にちょうど自分自身がつらいときでしたから。)

君原健二さんは、これまでのマラソンを途中棄権することなく全て完走しておられます。驚くべきは75歳の時には、嘗て優勝されたボストンマラソンを完走されています。

「あの街角まで あの電柱まで あと100mだけ走ろう」そんな思いで、走り続けておられるのでしょうか。

大きな目標を立てるのでなく、小さな目標を立て、それを一つ一つやり遂げながら、一步一步、歩んでいく。それがやがては、大きな目標に到達する。そんな君原健二さんと同じような考え方で、歩んでこられた方もあります。登山家の三浦雄一郎さんです。三浦雄一郎さんの言葉に、こんな言葉があります。

「人生は いつも今から、 一步一步 登り続ければ 頂上に立てる。」

君原さんと同じように、三浦さんの生き方がにじみ出た言葉です。一步一步です。

目標に向かって。一步一步、日々の努力を怠ることなくです。

## ○令和元年度 八東フェスティバル ～ 11月9日(土)開催 ～

11月9日(土)開催の八東フェスティバル、13時から開会します。多数の保護者・家族・地域のみなさんの参観をお待ちしています。

今年のスローガンは、「伝えよう つながろう みんなの笑顔で」です。

本番まで2週間。子供たちが風邪などひかないように、体調管理にも気をつけて下さい。また、子供たちへの励ましもよろしくお祈りします。

○すばらしい伝統が育ちつつあります。 ～ 今年も、「リレーの八東小」ここにありです ～

長い練習期間を経て、今年も八東小学校リレーチームがすばらしい成績を残して、今年の陸上シーズンを終わりました。

10月17日(木)に行われた第43回鳥取県小学校運動記録会(陸上)で、八頭郡を代表して大会に参加した本校リレーチームがすばらしい走りをしてくれました。**Bクラス6年男子4×100Mリレーで第2位(56秒09)**、同じく**Bクラス5年女子4×100Mリレーで第2位(61秒88)**。また、Bクラス6年女子チームは、**8位との差がわずか100分の1秒差**でした。惜しくも8位入賞できませんでした。惜しかったです。みんな本当によく頑張りました。

更に、10月20日(日)に開催された第20回県民スポレク祭・**小学男子・4×100Mリレーで第2位(55秒64)**でした。(因みに、1位は児童数400名以上の大規模校、倉吉市の小鴨小学校でした。)

リレーチームは、この秋、今年も校庭に引いた200Mのリレーコースで、本番さながらのバトン練習を繰り返してきました。始めの頃は、ダッシュが遅れ詰まって失速したバトンパスになったり、逆に、渡しきれずにバトンゾーンを越えたり、その度に、メンバーで相談し、そして再び練習に向かいました。

リレーは、一人一人の走力はもちろん大切ですが、それ以上に、バトンパスが大切です。**「バトンを繋ぐ、そして、心を繋ぐ」**それが生きた今年の結果だったと思います。4人の選手、そして、一緒に練習してくれた選手、八東小リレーチームみんなの力が結束して、このすばらしい結果になったと思います。昨年の結果を引き継ぎ、今年もすばらしい結果となりました。また、200Mのリレーコースで普段から練習できるこのすばらしい環境を、今後も生かしていきたいと思っています。

【写真・左下から】 ・6年男子 富士原康平・佐藤パトリック・大村宗磨・八田委久・青木海斗・藤田大獅  
 ・6年女子 藤田さち・飯田愛和・藤原愛・川西優奈・樋引美菜穂・藤田紗那  
 ・5年女子 橋本梨花・大石佳奈・盛田愛菜・坂田結衣・大村紗代・山根優菜 (順不同)



○八東の偉人:本田實氏に思いを馳せながら ～ 移動式プラネタリウムでの学習 ～



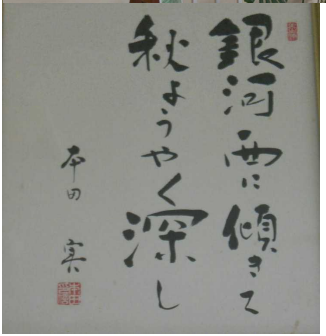
新聞でも紹介されていましたが、10月21日(月)に八東体文の遠見山ホールで、八東出身の世界的アマチュア天文家・本田實氏の縁で、本田實顕彰会会長の多賀利寛さん(山陰モバイルプラネタリウム代表・兼務)を中心に、移動式プラネタリウムでの天体の勉強を1年・4年・6年が学習しました。直径5m・



高さ3.5mの空気で膨らますタイプの移動式プラネタリウムで、天体を勉強しました。今回の事業は、県の星空環境推進室の吉田さんにも協力もいただき実施できました。

ドームの大きさは、ちょうど20人程度が入れる広さで、ドームの内側に映し出される最新の4K画像の美しい星座の数々に、すっかり魅了されていたようです。見たことのない星々の美しさ、その姿に子供たちは様々な思いを持ったようです。宇宙の広さ・宇宙の不思議さにも、心を動かされたようです。

これから夜空が、ますますその美しさを増す季節になります。空気も澄み渡り、光害のすくないこの八東の地域で子供たちが、家で星空観察に挑戦してくれば、本田さんもきっと夜空から喜んでおられることと思います。



本田實氏寄贈の天体望遠鏡と直筆額(校長室)

・尚、本田實さんの歩んでこられた道のりは、町教育委員会作成の道徳教材に「星への情熱」という題名でまとめられ掲載されています。保護者のみなさんも是非、一読下さい。6年生向け教材として作成されています。本校の坂本浩二教諭が作成に携わっています。